

地域情報

(ショウガの収量向上に向けた取り組み)

(一社) 熊本県野菜振興協会八代支部

八代地域の中山間地では、ショウガが116戸、36haの規模で栽培されており、県内最大の産地となっています。今年も例年通り、4月中旬から下旬に定植が行われました。梅雨の長雨等による大きな被害もなく順調な生育となっており、現在全てのほ場で芽揃い期を迎えています。

産地では近年、根茎腐敗病などの土壌病害対策が課題となっており、栽培管理や土壌消毒によって菌密度を低減している他、多発ほ場では数年休作する等の対策を行っています。

J Aやつしろは、6月26～28日に東陽地区にて座談会を開催し、今後の栽培管理に加え、土壌病害に対する農薬散布方法や耕種の防除方法を指導しました。

また、野菜振興協会八代支部でも、ショウガの土壌病害対策として、低濃度エタノールによる土壌還元消毒の展示ほを設置し、根茎腐敗病に対する防除効果を検討していく計画です。

八代地域では、このように土壌病害を低減するための様々な対策を行っており、ショウガの収量向上並びに中山間地の振興に取り組んでいます。



ショウガの生育現況



座談会風景